

平成19年1月発行

# 広報 - 第11号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院  
発行責任者 木村 格  
〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地  
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316  
ホムページ <http://www.mnh.go.jp/>

## 基本理念

私たちは、国立病院の使命を認識し、当院を利用されるすべての方々に信頼され、かつ満足していただける医療サービスと生活支援をめざしております。

## 今年も良い医療を行います



病院長 木村 格

皆様お揃いで新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。新しい年、新しい季節は誰にも喜びを与えます。今年は頑張るぞ、こんなことに挑戦してみたいと、それぞれに夢を描きます。今年も皆様にとって健康で、心豊かな1年でありますようお祈り申し上げます。

さて、今年も病院にとってもとても良い年になりそうです。地域で求められる医療を一層充実させます。広域病院と診療所が密接に連携し、地域で求められる医療をネットワークによってしっかり受け持ちます。今、一つの病気に対して地域毎に支援ネットワークを構築され、急性期から社会復帰まで切れ目のない医療サービスがなされています。

### 1) 地域医療支援オープン病床の開設

医師会と連携して、病院の中に地域医療支援オープン病床を開設いたします。開業されている先生が外来で診ておられる方に入院治療が必要になった時、オープン病棟での治療に病院担当医と一緒に参加いただき、外来から入院、退院まで切れ目のない医療を行うことができます。

### 2) 県南STROKE-NETによる脳卒中急性期治療

脳梗塞発症後3時間以内に詰まった血栓を溶解し、血液が再び流れるようにする新治療薬が開発され、使われています。後遺症や時には生命の危険のある脳卒中も、発症後早期に適切に治療することによって命が助かり、元気に社会復帰することができます。宮城病院は広南病院、総合南東北病院、公立刈田総合病院、みやぎ県南中核病院、公立相馬総合病院等と連携し、どこでも発症3時間以内に専門医療が受けられる体制を創っています。

### 3) 難病に対する全国支援ネットワーク

確実な治療法が未確立の難病に対して、全国の専門病院が連携して最適な医療と生活支援を行う体制が創られ、活動しています。当院難病治療センターには全国から患者さまが来られ、治療に挑戦されています。どんな重い病気を持っていても勇気を持ってこれに挑戦し、自分の設計した人生を歩む人が増えてきています。写真は茨城県や富山県から入院されている患者さまとのスナップです。宮城病院では患者さまの視点でいつでもできるだけ良い医療を安全に、心を込めて実施します。



今年もどうぞよろしくお願いたします。

## 講演「環境の洗浄・消毒とベストプラティクス手法」を企画して

院内感染防止対策研修として、12月21日(木)大会議室において、「環境の洗浄・消毒とベストプラティクス手法」と題した講演会を日置祐一先生(花王プロフェッショナル・サービス(株)学術部長)を講師に企画しました。

年末年始にかけてはインフルエンザや感染性胃腸炎(ノロウイルス等)が多発する時期となります。インフルエンザでも飛沫感染の他に手指を介した接触感染があり、これらの接触による感染を手洗・手指消毒で防御するのが最も有効な感染対策となっております。

特に高齢者においては、死亡原因の第四位に肺炎が上げられており、感染防御の難しさを物語っていると思います。それぞれの施設では以前から感染対策を行ってありますが、患者さまの施設間移動が多いことから最近では地域で取り組まないと効果が無いのではないかとされており、そこで今回は介護関係の施設にもご案内させて頂きました。

講演内容としては、今年大流行している感染性胃腸炎の大部分を占めるノロウイルスをメインにウイルスの特徴や感染対策としての標準予防策(手洗・手指消毒、汚物・嘔吐物処理)などの話に続いて、洗浄と消毒のメカニズム等に重点を絞った講演となりました。

年の瀬も迫った時期の開催にもかかわらず多数の方にご参加いただき、特に院外の参加者が半数以上と感染対策に関心が高いことが分かりました。今後も地域の関係者の方々と感染対策を勉強していきたいと思っております。

【ICT(院内感染対策チーム)副委員長 加藤 敏夫】



## イルミネーション点灯



みなさまお気付きになられた方も多と思いますが、患者さんや地域みなさんに楽しんでいただきたいということで、12月1日から新年1月3日までの間、病院正面玄関にイルミネーションを実施いたしました。(点灯時間:日没~午後10時)

11月30日の午後に職員で飾り付けを行い、翌12月1日午後5時に点灯式を行いました。期間中は昼間と違った夜の幻想的な世界を楽しんでいただけたと思います。

残念ながら見逃した方は、今年も実施したいと考えておりますのでぜひご覧下さい。

## 職場紹介 ~あすなる 病棟~

あすなる 病棟は、「コ」の字に配列されているあすなる3個病棟の中の真ん中の病棟です。病棟の入り口が少しわかりにくく、今の時期は、中庭の犬走りを通って病棟に入るため、にコートや羽織って病棟に入りたくなくなるほど、寒い状態です。。。。。

病棟スタッフは、医師1名、看護師17名、看護助手4名、児童指導員1名、保育士2名、総勢25名で運営されています。

患者さまは、下は4歳~上は57歳まで年齢層も幅広く、人工呼吸器を付けている患者さまから、一日中自由に病棟内を移動している方までいらっしゃいます。当病棟の患者さまは、会話でコミュニケーションを図れる方が少なく、自分の考えも伝えられない患者さまがほとんどのため、患者さまの思いに近づくためにはスタッフからいろいろな働きかけが大切です。そしてその働きかけで患者さまの笑顔を見られたときが、私たちも元気になれるときです。これからも、患者さまの立場に立ち、「思い」「持てる力」を引き出せるような関わりをみんなで持っていきたいと思っております。



【あすなる 病棟看護師長 須賀 秀子】

平成16年5月某日、朝起きたら突然眩暈がした。嘔気、頭重感も出現。ふらついて歩けない。まずい!! 脳梗塞か? までよ、「手足は動く」し、「呂律(ろれつ)は回る」。悲しい開業医の性(さが)、一休みして診察に向かった。さすがに仕事は無理で、外来で倒れてしまった。近医受診後、宮城病院に搬送となった。当時の齋藤院長、望月副院長や久永部長に診察を受け、結局「良性発作性頭位眩暈症」の診断で入院となった。幸い手厚い治療や看護で、数日間で退院し、すぐに社会復帰が出来た。開業以来、初めての病気休診であった。



昭和59年2月1日、今では珍しい大雪の日に開業した。開業医である父の病気により休院していた19床の有床診療所を再開したわけである。東京にある母校の大学病院に勤務していて、まだ30代の前半であった。開業のノウハウもわからず、ましてや地域の事も全くわからなかった。当時は救急病院が少なく、二次救急患者の紹介に困難を極めた。幸い地域の唯一の病院である宮城病院で、肺炎や脳卒中等の患者を、内科や神経内科や脳外科の先生方が快く引き受けていただいた。大変感謝している。その後も引き続き救急患者をお願いしている時に、前述のように私自身が、患者となったわけである。

開業以来20数年が過ぎた今、医療状況・医療環境が急激に変わってきている。急速な高齢化による医療費の増大や少子化による保険料の縮小による医療財源の悪化。又、介護保険の導入や在宅医療の推進。病院志向や専門医志向等、患者さんの意識の変化もあり、開業医は「冬の時代」を迎えている。有床診療所も無床化へと移行し、地域からベッドがなくなりつつある。今後の高齢化社会を迎え「看取り」の問題も出てきている。

幸いにも宮城病院は独立行政法人に移行しても、地域医療を積極的に推進し、それには病診連携が最重要との立場を取っていただいている。大変心強く有り難い限りである。又、地域支援ベッドの確保や、開業医との間のフルオープンシステムの計画等、ますます地域密着型の施策を打ち出していただいている。

これまで以上に宮城病院との連携を密にし、地域のために努めて行きたいと思っている。(氏家医院 氏家 弘)



氏家医院のご紹介

診療科 / 外科、整形外科、皮膚科、胃腸科  
 住 所 / 〒989-2361  
 宮城県亶理郡亶理町字館南86  
 TEL / 0223-34-1320

主な紹介医療機関 (平成18年4月~12月末日現在) ご紹介ありがとうございます

- ・松村クリニック (92件)
  - ・渡辺病院 (43件)
  - ・羽根田医院 (38件)
  - ・公立相馬総合病院 (34件)
  - ・東北大学医学部附属病院 (28件)
  - ・平田外科医院 (54件)
  - ・金上病院 (41件)
  - ・みやぎ県南中核病院 (37件)
  - ・青木神経科内科クリニック (28件)
  - ・独立行政法人国立病院機構西多賀病院 (28件)
- 上位10医療機関、他169医療機関からご紹介いただいております

生活習慣を見直そう ~ 高血圧症最終回 ~ 栄養管理室から  
 静かに忍びよる”高血圧”にご用心

高血圧は、知らない間に血管や心臓に負担がかかり、やがて突然、脳卒中・心筋梗塞の原因になる場合があります。まずは、自分の正しい血圧を知ることが必要です。高血圧とは、上(収縮期)が130mmHg以上、下(拡張期)が85mmHg以上の場合をいいます

高血圧を撃退するには、**食事療法が大切**になってきます。

**塩分は、1日6gにしましょう!!**

調味料だけを塩分と考えていませんか? 加工品(代表的なものが練り製品類)を控えることが塩分の取り過ぎを防ぎます。汁物は1日1杯にし、麺類のつゆも残しましょう。煮物より酢の物にする。レモン等の酸味やわさび・辛子・しそなどを使うとおいしく減塩できます。

**魚を食べましょう!!**

不飽和脂肪酸を多く含んだ青魚(サンマ・イワシ)がおすすめです。

**野菜・果物は毎日食べましょう!!**

野菜・果物には血圧を下げるカリウムが豊富にあります。

**牛乳は1日一杯飲みましょう!!**

カルシウムやマグネシウムにも血圧を下げる作用があります。1日200ccを目安にしましょう。

新年会のシーズン、アルコールは血圧を下げると言われていますが、お酒を飲むとアルコールが血管を広げ、血圧が一時的に下がるためです。毎日飲むと高血圧になりやすく、量が多いほど血圧が高いようです。注意しましょう。楽しい食卓になりますお鍋のシーズン、アルコール、だし汁にはくれぐれも注意してください。

(主任栄養士 菊地 美香子)

# 診療案内

平成19年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		佐藤 智彦	木村 格	木村 格	佐藤 智彦	仙台医療センター医師
神経内科	新 患	木村 格	菊池 昭夫	久永 欣哉	木村 格	大隅 悦子
	再 来	今井 尚志	今井 尚志	松本 有史	久永 欣哉	
呼吸器科		芦野 有悟				
消化器科		未 定				
高血圧/リハ外来		佐藤 智彦	木村 格	木村 格	佐藤 智彦	
循環器科			安田 聡			
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午 前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午 後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児検診	療育相談 (大島 武子)	
外 科				小島 誠一 (午後から)		
脳神経外科		大友 智	安藤 肇史	大友 智	手術日	安藤 肇史
皮膚科					第4(木)のみ 東北大医師	
リハビリテーション科				(第2・4午後)古澤 義人 (入院患者対象)		
歯 科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	頭痛外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	脳ドック	佐藤 智彦			佐藤 智彦	
	A G A 外来	佐藤 智彦			佐藤 智彦	

## 受診される方へ

受付時間は8:30~11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承ください。

## 交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイントの位置です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

